



# 京大病院広報

KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL NEWS

## TOPICS

### 新病院整備推進室の設置について



本院の老朽化した病棟を再構築し、患者さんを中心とした診療体制重視の新病院建設を推進するため病院長直属の「新病院整備推進室」が設置され、10月27日午後5時から施設・環境部長をはじめ診療科長等の出席のもとに開所式が行われました。同推進室は、室長に北副病院長が、副室長には宮地教授と久本事務部長がそれぞれ就任され、事務部職員（専任・兼任）若干名から構成されます。

同推進室では、今後、新病院建設基本ソフトなどの実施計画の立案と調整、債務償還計画等の業務を行うこととなりますので皆様のご協力をお願いいたします。

（写真：左から久本副室長，宮地副室長，北室長，金谷施設・環境部長）

## CONTENTS

- 1. 新任診療科長挨拶 . . . 2  
総合診療科長 新保卓郎
- 2. 多剤耐性緑膿菌による感染について . . . 2
- 3. 最先端医療シリーズ . . . 3  
循環器内科 木村 剛
- 4. 本院の動き . . . 3
- 5. 各科・部からのメッセージ . . . 5
- 6. 「名物先生紹介」 . . . 7
- 7. 読者より . . . 9
- 8. 紹介患者予約システムについて . . . 9

巻末 外来診療担当医師一覧表

## 京大病院の基本理念

- 1. 患者中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供する。
- 2. 新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する。
- 3. 専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな医療人を育成する。

### - 発行 -

京都大学医学部附属病院広報編集委員会  
〒606-8507  
京都市左京区聖護院川原町54  
Mail: koho@kuhp.kyoto-u.ac.jp  
<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp>  
ご意見、ご感想をお待ちしております。  
また、原稿の投稿も歓迎いたします。

## 1. 新任診療科長挨拶

### § 総合診療科長 新保卓郎



平成16年9月1日より、総合診療科長に就任致しましたのでご挨拶申し上げます。

総合診療科には幅広い問題を抱えた患者様が受診されます。例えば、診断が未定の方、複数の慢性疾患や心理社会的背景のある方、あるいは救急急性疾患の方などです。我々の目標は、このような幅広い問題に対処できる能力と意欲を持った臨床医の集団であることです。特に磨きたい技能は次のようです。

1. あらゆる症状・広い問題に対する診断学 2. 医療コミュニケーション 3. 心理社会的アプローチ 4. 予防医学的アプローチ 5. EBM 的臨床

問題解決技法 6. 診療の質の管理

私自身卒業後25年たつてなお、診療現場での診断には緊張感を覚えます。日々チャレンジしたいところです。

今後院内での体制の変化も予定されています。我々としては、日常診療の積み重ねの中でこれを医学教育に活かし、また複雑な問題を総合的にマネジメントできる能力を磨きたいと考えています。

#### 【略歴】

昭和54年3月	慶應義塾大学医学部卒業
昭和54年4月	慶應義塾大学医学部内科学教室
昭和56年5月	栃木県済生会宇都宮病院内科
昭和58年5月	慶應義塾大学医学部内科学教室 血液・感染症・リウマチ科
昭和61年7月	国立東京第二病院（現国立病院東京医療センター）内科
昭和63年4月	同院 総合診療科 併任
平成元年10月	米国 Pennsylvania 大学 Section of General Internal Medicine
平成3年10月	国立東京第二病院 内科
平成9年8月	京都大学医学部附属病院総合診療部 助教授
平成11年4月	京都大学大学院医学研究科 臨床疫学 助教授
平成16年9月	京都大学医学部附属病院総合診療科 診療科長

## 2. 多剤耐性緑膿菌による感染について

本年7月から8月にかけて、院内において多剤耐性緑膿菌による感染があり、残念ながら2名の患者さんが死亡されました。詳細については、9月2日（木）に記者会見を行い、すでにテレビ、新聞等により報道がなされておりますが、発生から今後の取組み等について、以下のとおり経過報告します。

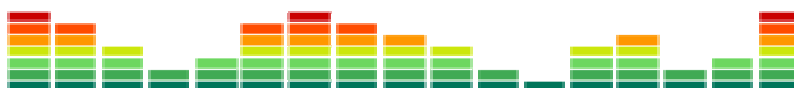
死亡された2名の患者さん及び入院患者さんから同一の多剤耐性緑膿菌が検出され、8月下旬に御遺族に多剤耐性緑膿菌による感染についての説明を行いました。また文部科学省をはじめとする関係機関へも速やかに報告しました。

感染経路については、院内に外部の専門家を含めた評価委員会を設置し、原因究明及び再発防止策等に取り組んでおります。

今後、調査委員会及び評価委員会での検討に基づく報告書が作成された後、改めてその内容について、公表していく予定にしております。また本院としても、各病棟における感染予防に関しては、万全の対策を講じるとともに、患者さんに不安を与えることのないよう診療活動に邁進することとしております。

（感染制御部）

### 3. 最先端医療シリーズ



#### 「薬剤溶出性ステント導入後の虚血性心疾患治療戦略」

循環器内科 助教授 木村 剛

虚血性心疾患治療の領域における最近の最大の進歩は疑いもなく、薬剤溶出性ステントの導入である。薬剤溶出性ステントとは、従来から冠動脈疾患のカテーテル治療に用いられていたステントに、免疫抑制剤などの細胞周期を抑制する薬剤をコーティングし、血管壁局所に高濃度の薬剤を徐放させ、平滑筋細胞などの増殖を抑制し再狭窄を予防しようとするものである。RAVEL 試験、SIRIUS 試験、TAXUS 試験といったランダムイズドトライアルで証明された著明な再狭窄抑制効果は、RESEARCH レジストリーや e-CYPHER レジストリーといった実地臨床の成績としても再確認された。

従来、冠動脈インターベンション(PCI)とバイパス手術(CABG)を比較するランダムイズドトライアルの一般的な結論は、生命予後には差がないが、再度の血行再建を要する頻度が、PCIにおいて有意に高いというものである。薬剤溶出性ステントによる再狭窄抑制効果はきわめて明確であり、実際に多枝疾患に対するシロリムス溶出性ステント(CYPHER)症例を登録したARTS-2 レジストリーでは、同様の症例を登録したARTS-1 試験のCABG群と比較して、再度の血行再建を含めた6ヶ月の主要心事故回避生存率において、同等以上の成績が報告されている。

一方、薬剤溶出性ステントの安全性については、「適切な抗血小板療法を行えば、ステント血栓症の頻度は従来の金属ステントに比し、決して高くない」というアナウンスがFDAより出されており、現状では特に問題ないと考えられて

いる。ただ、最近、薬剤溶出性ステント留置後1-2年の時期に、抗血小板療法中止を契機にして、遠隔期ステント血栓症を発症した4例が報告された。薬剤溶出性ステントを留置した患者総数や抗血小板療法を中止した患者総数が不明であり、その意義付けは困難であるが、当面は抗血小板療法を長期に投与するということが慎重に対応するのが妥当であろう。今後は、長期の安全性について、多数症例の長期追跡データの詳細な検討が必要とされる。

長期の安全性が確認されれば、薬剤溶出性ステントの効果は再度の血行再建を要する頻度の減少に留まらず、糖尿病例や左主幹部疾患例など重症例の生命予後改善に繋がるものと思われる。これらの症例における薬剤溶出性ステント留置後の長期予後がCABGに劣らないということを実証し、薬剤溶出性ステントを用いたPCIという低侵襲治療を、従来CABGの適応とされてきたハイリスク患者に安全に提供することが、今後の虚血性心疾患治療の重要な方向性である。

日本においても、本年8月よりシロリムス溶出性ステント(CYPHER)が保険償還され臨床使用が開始されている。京都大学病院においてはこの新しい薬剤溶出性ステントを積極的に使用して、1回の治療で冠動脈の血行再建が完結するように努めている。同時に全国のハイボリュームセンター36施設と連携し、j-CYPHER レジストリーという15000例規模の症例登録研究を開始し、この新しい薬剤溶出性ステントを用いたPCIの安全性と有効性の長期評価を行っている。

### 4. 本院の動き

#### 医療制度に関する意見交換会

京都府医師会から「これからの日本の医療はどうあるべきか」という課題について、本院職員と意見交換会を実施したいとの要請があり、7月29日(木)に同医師会幹部職員と本院職員との意見交換会が第一臨床講堂で実施され

た。当日は、テーマである医療制度問題等が題材となっている映画「ジョンQ」を上映後、医師、看護師、コメディカル等、70名を越える本院職員が出席し、国民皆保険体制、混合診療、医療費等の問題について、医師会幹部職員と活発な意見交換がなされた。



## 第1回京都大学トランスレーショナルリサーチ（TR）・シンポジウム - 戦略的TR -

去る8月20日（金）に芝蘭会館稲盛ホールにて「第1回京都大学トランスレーショナルリサーチ（TR）・シンポジウム - 戦略的TR -」が、京都大学医学部附属病院探索医療センター、同医療開発管理部、並びに京都大学医学研究科知的財産経営学コースの主催により開催された。

このシンポジウムは、探索医療センター（以下、センター）が平成13年4月に設置され、今年3月で3年が経過し、探索医療開発部、探索医療検証部、探索医療臨床部の3部体制も整ったこと。また、6つの流動プロジェクトも順調に研究を推進していることなど、その活動成果の発表・報告の場として、全国の医学系大学・病院・研究施設、関連企業などを対象に開催した。

テーマは、センターの活動と今後の展望、TRの原則と実践、TRと知的財産・事業化、また、センター各流動プロジェクトによるTR・ワークショップというかなり盛り沢山の内容について、センターが今まで進めてきたこと、今後TRを推進していくうえでの問題点などを中心に講演などが行われた。



シンポジウムの様子

## 重慶市大学関係者病院見学会

9月10日（金）に中国重慶市の各大学教員等32名を対象とした本院の見学会が実施された。同見学会は、立命館大学から依頼があったもので、中国に対するODA事業（中国内陸部人材育成事業）の一環として、重慶市の各大学幹部クラスの教員を立命館大学が受け入れ、滞在期間中に国内の国立大学及び私立大学の大学改革関係の研修を行うこととなっている。本院の見学も京都大学の改革事例の講義等を受けた後、最先端医療の現場を実際に見学したいとのたつての要望があり実施したものである。当日は、一山病院長補佐から本院の概容について説明を受けた後、各病棟及びデイ・サージャリー診療部を見学した。また探索医療センター

の清水教授から同センターにおける研究内容についての講義があり、約2時間の見学会を終了した。

## 平成16年度医学部附属病院職員接遇研修

去る9月13日（月）に、臨床第一講堂において平成16年度医学部附属病院職員接遇研修が開催され、看護師、技師、事務職員等を中心に、計184名の参加者があった。

研修は、大学の法人化に伴い、患者中心の医療が求められている現在、病院職員としての基本的な心構えと接遇について学ぶために企画され、久本事務部長から「患者中心の医療とは - 職員接遇研修の開催にあたって - 」について講義があり、次いで、外部講師として、ニチイ学館の本田志津子講師を招き、「よりよい患者サービスのために」と題して、具体的な事例や電話応対時のロールプレイング等も交えながら有意義な講義があり、接遇についての基本的知識を深めた。



講師の話に聞き入る参加者

## 京大関係病院長協議会定例総会

平成16年度京大関係病院長協議会定例総会を9月25日（土）に芝蘭会稲盛ホールで開催した。本年は、卒後臨床研修必修化の状況、本院救急部の現状等を報告するとともに、京都新聞編集委員兼論説委員の川端眞一氏、堀場製作所人事教育部長の野崎治子氏による講演があった。また、各関係病院長から医師不足、医師派遣等に関わる深刻な状況について報告があり、今後、対応していくべき方策について、活発な意見交換がなされた。

なお、京大病院の各診療科長等の出席については、12診療科（部）において代理出席となっており、本総会の持つ重要性等を鑑みれば、少し軽視されているのではないかとのお叱りのご意見等もいただき、来年度以降は是非とも全診療科長の出席をお願いしたいとの田中病院長からのコメントがあった。

## 5. 各科・部からのメッセージ



**腫瘍外科(第一外科)**：大腸直腸癌が増加していますが、手術後の再発も増えています。最新のFDG-PETを駆使して全身のチェックを行うとともに、CTとの合成画像を開発し、再発の適切な手術、放射線治療、化学療法を行っています。また直腸癌に対して肛門括約筋切除を伴う肛門温存術を導入し、人工肛門を回避して術後QOLの向上に貢献しています。是非大腸専門外来にご相談下さい。(専門外来は水曜日と金曜日、または751-4460(外来)か751-3220(病棟)にご相談下さい)

**心臓血管外科**：弁膜症に対する弁形成術(人工弁を使わず、患者さんの弁を修理します)が注目を集めています。術後安全でほぼ健康人の生活に戻れるからです。当科には各地大都市や九州四国など遠方からも患者さんが弁形成を希望して来院されます。弁形成術には多年の高度経験が必要で、形だけの看板を出していても本格的にそれができる病院は稀です。誤った病院選択をして弁置換になる前にご相談下さい。【心臓血管外科ホットラインは075-751-3788か3789】

**心臓血管外科**：心臓病の患者さんは重症のため移動にも注意が必要なことがよくあります。そうした患者さんには当院からの救急車によるお迎えが必要なため、以前から病院側と交渉して来ましたが、最近かなりそれができるようになりました。独立行政法人化で私達の患者さん本位の姿勢が当然と認識されるようになったからです。心臓病患者さんを抱えておられる先生方は、是非当科へご連絡下さい。

手術できるかどうか不明な重症患者さんも同様にご相談下さい。【心臓血管外科ホットラインは上記】

**形成外科**：顔面(口唇、口蓋裂、小耳症など)、手足(多指症、合指症など)の先天性疾患、その他体表面のあらゆる変形、腫瘍、色調異常の手術を行っています。また、熱傷、瘢痕、ケロイドの治療も当科の柱です。顔面外傷に対しては新鮮例、陳旧例を問わず対応しています。頭頸部などの悪性腫瘍切除の再建手術は他科と協力しながら進めています。最近では高齢者のQOLを高めるために、眼瞼下垂や難治性潰瘍の手術治療を積極的に行っています。また乳癌手術後の乳房再建手術を行っていますので相談してください。

**歯科口腔外科**：睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置による治療が今年度より保険適応になりました(呼吸器内科や耳鼻科で睡眠検査によって診断され紹介された場合)。当科では1994年よりこの治療を行っており、日本睡眠学会に認定された担当医\*は日本の歯科口腔外科で最多の診察実績があります。また、下顎が後退したり、小さいために起こる無呼吸に対しては顎矯正手術で改善させることも可能です。専門外来は月曜午後に開いています。毎日の初診にご紹介下さい。( \*吉田和也 075-751-3729 )

**消化器内科**：日本において慢性炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)が増加しています。当科では、これらの難治性疾患に対して白血球除去療法、免疫

抑制剤および抗TNF抗体などによる最新の治療を行っています。また、栄養管理科とも連携をとることで個々の患者様に合った食事指導を行い、患者様のQOLの向上に努めています。炎症性腸疾患に関することでセカンドオピニオンを含めた質問などございましたら、気軽にご相談ください。

**光学医療診療部**：京大病院の消化管、胆膵疾患、呼吸器疾患の内視鏡診断と治療のすべてを担当しています。小腸移植後の拒絶反応の早期診断や、生体肝移植後吻合部狭窄に対する内視鏡治療などに加え、早期食道癌、胃癌、大腸癌に対して積極的に内視鏡的治療を行っています。また他の病院に先駆けてカプセル内視鏡やダブルバルーン方式小腸内視鏡を導入し、これまで診断が困難であった小腸疾患の診断と治療に力を注いでいます。内視鏡診断、治療についてのご相談をお待ちしております。(075-751-4596)

**免疫・膠原病内科**：わが国において膠原病診療を中心とする講座は極めて少なく、近畿圏ではその傾向が著明です。当科は三森教授のもと、膠原病・リウマチ性疾患・免疫疾患における研究・臨床・教育の拠点作りを目指しています。また免疫疾患領域において近年注目されている生物学的製剤も積極的に導入しています。リウマチ・膠原病における薬物治療も確実に進歩していますので、関連疾患においてお困りの場合はぜひご相談ください。

**探索医療センター・探索医療検証部**：わが国初、そして唯一の臨床研究・臨床試験支援・推進のための専門部門です。われわれのゴールは疾病征圧です。そのために重要な各疾患の治療成績向上を目指して戦略的にアプローチしています。同部は臨床試験指導医師、生物統計家、薬剤師、看護師、システムエンジニアを擁し、これまでに60を超える臨床研究・臨床試験の企画・実行・管理・解析を支援してきました。文科省による神戸の先端医療振興財団・臨床研究情報センター・臨床研究運営部 (URL:<http://www.tri-kobe.org>) と連携して世界をリードできる基盤を構築しました。臨床研究・臨床試験の支援について、いつでも申しつけ下さい。(URL:<http://www.kutrc.org>)

**外来化学療法部**：平成15年10月開設以来、1年間で延べ患者数7,711人、実患者数602人、現在一日平均患者数は約36人になっています。すべての悪性腫瘍患者を受け入れるべく独自のデータシステムを更新し、有効かつ安全な標準療法外来レジメンの確立のため、データベースに基づくクリニカルオンコロジーの研究・実践を行っています。オンコロジスト・オンコロジーナース・オンコロジーファーマシストの育成プログラムを開始予定です。見学は075-751-4836までご連絡下さい。

**輸血細胞治療部**：安全で適正な輸血療法を推進させるため、中央診療センター一体となって日夜努力しています。輸血検査・管理24時間体制の構築のほか、平成17年1月からはベッドサイドでのコンピューターによる患者確認などのインテリジェントな輸血管理システムが逐次稼

働する予定です。また、分子細胞治療センター(CCMT)では、造血幹細胞移植にもちいる移植細胞の一元管理を実施するとともに、隣島移植など先端的な細胞治療や再生医療開発に必要な治療用細胞の作製を行っています。

**地域ネットワーク医療部**：当医療部ではソーシャルワーカー、専任看護師、医師からなるチームで、患者・家族が医療の恩恵を最大限享受して、QOLの高い生活を送れるように支援を行っています。入院から在宅にスムーズに移行できるように支援プラン相談や環境調整を行う退院支援、目的に応じた医療を継続するための転院支援、通院中の患者・家族のさまざまな相談に応える療養相談などを行っています。また、本年6月からは部内に地域医療連携室を設けFAXによる紹介患者事前予約システムを開始いたしました。予約用紙は京大病院ホームページからもダウンロードできますので、是非ご活用下さい。(地域医療連携室：電話751-3110、FAX751-3115)さらに、京大病院から地域医療機関への逆紹介の促進や、地域との研修会などによる交流の活発化などを今後の課題として取り組んでおります。退院後のかかりつけ医や訪問看護等のご依頼、患者紹介や逆紹介など、大学病院と地域医療機関との橋渡しをする部門として地域医療連携の円滑化に努力していきたいと考えております。

**医療情報部**：当部では、病院の基幹情報システムの運用のみならず、医療への情報技術の応用を目指して活動しています。VR(仮想現実)技術を用いた医療手技シミュレータの開発や、他の医療機関との円滑な情報連携を目指して、XML技術を用

いた地域医療連携システムの研究開発を行っています。このように、多角的な観点から社会に貢献する医療基盤の実現をめざした活動を行っています。

**薬剤部**：手術部での薬剤師による医薬品定数セット供給システムが12月より稼働します。手術前日、担当薬剤師が専用医薬品保管庫に定数セットを充填し、手術当日麻酔医が術式に適した定数セットを麻酔用カートに充填し、手術室で使用します。術後、定数セットは返却専用の医薬品保管庫に返却され、手術予定表をもとに薬剤師によって使用医薬品の監査が行われ、使用医薬品が把握されます。本システムによって手術部内での安全かつ適切な医薬品の使用が図れるものと期待されています。

**検査部**：臨床検査の種類や基準値に対する社会的関心が高まっており、臨床検査サービスの良否が重要視されています。当検査部では平成14年度に最新の検査システムを導入して、採血から成績報告までトータル2時間以内に完了できる外来至急検査を開始致しました。さらに腫瘍マーカーやホルモン検査等の特殊検査も精度の向上と採血当日報告の拡大を実現しています。迅速な検査報告と高度な病態解析情報を提供できる信頼の検査部を目指しています。

**卒後臨床研修センター**：卒後臨床研修の必修化への当院の取り組みの拠点として、平成15年1月に設置されました。関連病院その他協力施設と連携しながら、医師としての基本的診療能力の研修に主眼を置いたプログラムを運営しており、平成18年度からは歯科医師の研修プログラムも開始する予定です。学部教育や専門医教育体制など関



連する種々の議論と緊密に連絡をとりながら、特色ある「京大プログラム」の構築に努めます。

**看護実践開発センター**：平成16年度に院内に新設されました。センターでは、“先端医療お

よび医療の安全性を高めるための技術開発”、“研究開発のための情報収集・発信”、“実践支援のための教育プログラムの構築、リーダーの育成”などを目指しています。先日、「糖尿病患者フットケア」と題する本を編集・

出版しました。現在は、糖尿病や褥瘡、救急蘇生や輸液管理などに関する研修を企画、実施しています。関心のある方は、075-751-4238(TEL、FAX)まで。

## 6. 名物先生紹介

今号から各診療科(部)を背負って立たれている先生方を順に紹介していく予定です。

### § 消化器内科

### 八隅秀二郎先生 & 仲瀬裕志先生

消化器内科のスタッフは平均年齢が若く(?)、皆、とても仲がよいのが特徴です。公私にわたって助け合いながら、抜群のチームワークで毎日の激務を乗り切っているわけです。それぞれ様々な趣味を持っているのですが、当科で胆膵疾患の診療責任者である八隅先生と、炎症性腸疾患のスペシャリストである仲瀬先生、(ここに筆者を加えた3名)が集うと盛り上がる話題と言えばなんといっても格闘技です。ただし、“格闘技をする”のではなく、あくまでも“スポーツとして観戦を楽

しむ”だけですので、両先生の風貌から勝手に誤解のないようにお願いします。毎週、仲瀬先生が買ってくる“週間ファイト”を熟読し、今週のPRIDEの試合結果や、新日本プロレスの将来について熱く語り合うことが、日頃のストレス解消に少しは役立っているのかもしれませんが、なんとなく粗暴な趣味のように見えるかもしれませんが、診察室で突然、空手チョップを披露したりはしませんので、ご安心ください。

紹介者：消化器内科助手 丸澤宏之

### § 眼科

### 渡部大介先生

渡部大介先生は今年で8年目、まさに多芸多才というべき人です。休日はバイクにまたがり一人旅に出たり、カヌー、釣りなどアウトドア派。また浜田省吾が好きでライブも行けるだけ行くといい、自らもよくギターを弾くとのこと。画才もあり、研修医の頃はカルテの眼底スケッチが丁寧に書き込んであることで有名で、コメディカル向けのテキストでイラストを担当したという逸話もあります(本文は?)。一方、診療にも真剣に取り組

んでおり、病棟では他の医員のまとめ役、若手の兄貴分的な存在です。またこの春大学院を卒業しましたが、今も夜遅くまで研究室で実験を続けています。と、ここまで書いてきて先生がまだ独身であることを思い出しましたが、深く追求するとまたバシバシ叩かれそうなので、こちら辺で筆者にとっては大学時代のラグビー部の先輩にもあたる渡部先生の紹介を終わります。

紹介者：眼科(大学院2回生) 平見恭彦

## § 腫瘍外科

## 渡辺剛先生



腫瘍外科は難治性の消化器癌を扱っておりスタッフ全員が朝から深夜まで忙しい。その中で病棟医長として獅子奮迅の働きをしているのが渡辺剛先生である。図体が大きいので遠くからでも存在感があるが、丁寧な指導で

研修医にも人気がある。病棟のベッドのやりくりで多大なストレスを背負っていると思われるが、一向に痩せないのは大らかな性格なのであろうか。臨床では食道癌の研究に精を出し、国際的にも認められた優れた仕事をしている。海千山千の強者たちの中で、確かなハーモニーを導く人柄に教室員は深い信頼を寄せている。趣味はスポーツ全般で、学生時代は華麗にスキーをこなしていた（スモートの話もあるが）とのこと。二児の父親で子煩悩であるが、目下のところ休日もないなかで円満な家庭を維持することに苦心している。優しさや豪快さ、繊細さ(?)を持ち合わせた性格に難治癌患者の寄せる期待は大きい。

紹介者：腫瘍外科助教授 小野寺 久

## § 臓器移植医療部

## 江川裕人先生



昭和57年卒で、芝蘭会硬式テニス部の先輩です。第二外科(肝臓外科) アメリカ留学(肝移植臨床)を経て1996年から移植外科で生体肝移植の立ち上げに約10年間携わってこられました。そのバイタリティーから原

子炉を背負っていると噂される田中教授とともに、負けないくらいの熱い想いで坂道をこつこつと登ってこられ、外来の患者さんは数え切れないほど多く、研究に対する情熱も維持して、八面六臂のご活躍です。顔と声が大きくて、怒られてるのかと勘違いする人もいて、本人は少し気にしてるみたい。疲れることは無いのですか、とお尋ねすると、「疲れることはあるよ。でも自分達を信じてやって来る患者さんをずっと背負い長生きしてもらうのが使命だから。」という返事が返ってきます。お酒とマウンテンバイクで山登りをするのが好きで、休日の息抜きがあれば、仕事場では益々冗談と駄洒落を連発。そのお酒も最近では体重と膝にかかる負担と年齢(?)を気にして少し減らし気味。

紹介者：移植外科講師 上田幹子



## 7. 読者より

## 「100床病院で思うこと」

京都通信病院 院長 久萬田俊明

大学に対して要望等を書くようにとの依頼を受けました。日頃感じていることを2～3述べさせていただきます。

1) 大学人事で赴任してくる医師は協調性があり、臨床のできる人物であってほしい：とりわけ当院のような小規模病院では医師一人の言動が組織を乱し、経営の足を大きく引っ張ります。修復には大変な労力と時間を要します。

2) 臨床の現場では救急治療のできる医師が必要：救急医療が修練できる施設は限られています。大学は教育の一環として学生を6回生から救急の現場に貼り付け、卒後1年目を

基本的な救急治療の修練の場に当ててはどうでしょうか。

3) 大学での検査入院に短期入院枠を：勤め人の大半は短期間しか休暇が取れません。大学に2～3日で検査のできる入院枠があれば便利です。

4) 大学病院で急性期を脱したがまだ入院治療の必要な患者は関連病院へ転院を：大学は入院日数の短縮になり、転院先病院は地域住民への宣伝や病床稼働率上昇に繋がります。このためにも京大病院地域医療連携室が地域との連携の拠点としてフル活動できるよう今後の充実が待たれます。

## 8. 紹介患者予約システムについて

地域医療機関との連携と患者サービスのより一層の向上を図るため、平成16年5月より運用を開始しております。ご紹介して頂いた患者様に対し予約受付を行い、スムーズに受診していただけるシステムです。

## 【申込手続】

医療機関より、本院が定めた患者登録票に必要事項を記入の上FAX送信していただく。

予約受付が完了したら、本院より予約確認票を医療機関にFAX送信いたします。

患者さんは、予約当日、予約時間の15分前に来院していただき、外来棟1階 窓口にて診療情報提供書、予約確認票、保険証等を提出していただきて手続が終了します。

## 【受付担当部署及び問い合わせ先】

京都大学医学部附属病院紹介予約担当

電 話 075 - 751 - 3110

受付専用FAX 075 - 751 - 3115

受付時間 平日 9時～16時30分

( 土日・祝祭日及び年末年始は受付事務は行っておりません )

患者登録票は、本院のホームページからプリントアウトが可能です。

HPアドレス ([http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~iji/syoukai\\_html/index\\_0001.html](http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~iji/syoukai_html/index_0001.html))

1-A受付		総合診療科 (L)					TEL751-4400 FAX751-4402
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
101 TEL (4403)	午前		初診 白水 倫生 (総診)	初診 浅井 篤 (総診)			
	午後	再診 玉城 浩己 (総診)	再診 白水 倫生 (総診)	再診 浅井 篤 (総診)		再診 藤村 聡 (総診)	
102 TEL (4416)	午前	初診(学生係) 小山 弘 (総診)	初診(学生係) 新保 卓郎 (総診)	初診(学生係) 森本 剛 (総診)	初診(学生係) 平 憲二 (総診)	初診(学生係) 金城 永治 (総診)	
	午後		予防医療クリニック 松森 由希子 高橋 裕子 (総診)	予防医療クリニック 松森 由希子 (総診)			
103 TEL (4404)	午前	リエゾン精神医学 新宮 一成 (総診)	リエゾン精神医学 阪上 梯二 (精神)	リエゾン精神医学 和田 信 (精神)	予防医療クリニック 松森 由希子 (総診)		
	午後				予防医療クリニック 松森 由希子 (総診)		
104 TEL (4405)	午前	再診 平 憲二 (総診)	再診 金城 永治 (総診)		再診 新保 卓郎 (総診)	再診 森本 剛 (総診)	
	午後				再診 新保 卓郎 (総診)		
105 TEL (4406)	午前	初診 新患対応医 (総診)	初診 森本 剛 (総診)	再診 前田 健次 (総診)	初診 金城 永治 (総診)	初診 小山 弘 (総診)	
	午後			再診 前田 健次 (総診)		再診 小山 弘 (総診)	
106 TEL (4407)	午前	初診 高橋 謙 (総診)	初診 新患対応医 (総診)	初診 平 憲二 (総診)	初診 高橋 謙 (総診)	初診 前田 健次 (総診)	
	午後			再診 平 憲二 (総診)	再診 高橋 謙 (総診)	再診 前田 健次 (総診)	
107 TEL (4408)	午前	初診 蔵本 伸生 (総診)	初診 蔵本 伸生 (総診)	再診 小山 弘 (総診)	初診 宮澤 大輔 (総診)		
	午後		再診 蔵本 伸生 (総診)				
108 TEL (4409)	午前						
	午後						
109 TEL (4410)	午前	高齢者健康増進 担当医 (老年)	高齢者健康増進 担当医 (老年)	高齢者健康増進 担当医 (老年)	高齢者健康増進 担当医 (老年)	高齢者健康増進 担当医 (老年)	
	午後	探索医療 横出 正之 (消内)	探索医療 横出 正之 (消内)	探索医療 横出 正之 (消内)	探索医療 横出 正之 (消内)	探索医療 横出 正之 (消内)	
110 TEL (4411)	午前	初診 担当医 (総診)	初診 担当医 (総診)	初診 担当医 (総診)	初診 担当医 (総診)	初診 担当医 (総診)	
	午後						

1-B受付		整形外科 (120)					TEL751-4400 FAX751-4402
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
111 TEL (4478)	午前	骨粗鬆症外来 坪山 直生 (第1,3,5週午後)		脊柱外来 根尾 昌志	股関節外来 大西 英次郎		
	午後		骨軟部系総後援 戸口田 淳也 (第1,3,5週) 坪山直生 (第2,4週)	スポーツ腫瘍外来 戸口田 淳也 (第2,4週)	股関節外来 中川 泰彰 (第1,3,5週午後) 川那辺 圭一 (第2,4週)	腫瘍外来 笠原 勝幸 (第2,4週)	
113 TEL (3698)	午前	腫瘍外来 中山 富貴		脊柱外来 藤林 俊介	股関節外来 清水 基行 秋山治彦(12/16以降)		
	午後			一般外来 青山 朋樹			
115 TEL (4534)	午前	一般外来 藤林 俊介	一般外来 中山 富貴	一般外来 小林 雅彦	一般外来 伊藤 宣	一般外来 清水 基行 秋山治彦(12/16以降)	
	午後	脊柱外来 吉田 真		リウマチ外来 伊藤 宣	上肢外来 松本 泰一	スポーツ腫瘍外来 中川 泰彰	
117 TEL (4536)	午前	脊柱外来 根尾昌志(午前のみ)		リウマチ外来 中村 孝志	上肢外来 柿木 良介	スポーツ腫瘍外来 小林 雅彦	
	午後						

専門外来の新患は紹介状が必要、無ければ115号室で受付

遺伝子診療部						TEL751-4400
診察室	曜日	月	火	水	木	金
一診		白石 一浩	依藤 亨	小杉 眞司	藤田 潤	藤村 聡
二診		依藤 亨	藤田 潤	藤村 聡	小杉 眞司	富和 清隆

あらかじめ予約が必要となります (連絡先075-751-4350 時間13:00~17:00)  
遺伝子診療部担当医は全員兼任のため、予め時間調整を行って外来を担当していますので、必ずしも上記の表のとおりにならないこともあります。オーダリングによる予約はできません。

### 精神神経科外来担当医表

診察室	曜日	月	火	水	木	金
一診		林 拓二	村井 俊哉	吉岡隆一(2,4週) 深尾憲二郎(1,3,5週)	岸本 卓三	須賀 英道
二診		岸 信之	野間 俊一	岡田 俊	深尾 憲二郎	林 晶子
三診			林 晶子	岸本 卓三	林 拓二	児童外来 岡田 俊
四診			吉岡 隆一	摂食障害 野間 俊一	野間 俊一	村井 俊哉
五診			深尾 憲二郎	須賀 英道	和田 信	
六診						岸 信之
七診						吉岡 隆一

処置室 : 3384 / 3394  
事務室 : 3373 / 3374

外来診療担当医表 2階 内科系 (2004年12月)

京都大学医学部附属病院

2-A受付		消化器科 (C)					TEL751-4425 FAX751-4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
201 TEL (4444)	肝臓	消化器	肝臓・消化器	消化器・肝臓	消化器・肝臓	消化器・肝臓	
	鍋島 紀滋	青野 充	千葉 勉	西尾 彰功	八隅 秀二郎		
202 TEL (3684)	消化器・肝臓	消化器・肝臓	消化器・肝臓	消化器・肝臓	消化器・肝臓	消化器・肝臓	
	丸澤 宏之	誉田 芳孝	福井 広一	妹尾 浩	仲瀬 裕志		
203 TEL (4368)	初診		肝臓			初診	
	担当医		福田 善弘			担当医	
204 TEL (4369)	消化器	初診	肝臓	肝臓			
	若月 芳雄 (老年)	担当医	米田 俊貴	米田 俊貴			
205 TEL (4298)	肝臓		消化器				
	鍋島 紀滋 第1週は休診 (消内)		青野 充 (1,3,5週) (血液)				
206 TEL (4443)	水曜のみ使用						

2-A受付		腎臓科 (D)					TEL751-4425 FAX751-4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
206 TEL (4424)	腎疾患・高血圧	腎疾患・高血圧	腎不全透析	腎疾患・高血圧	腎疾患・高血圧	腎疾患・高血圧	
	家原 典之	野村 啓子	深津 敦司	吉岡淳子(1,3,5週) 横林弘之郎(2,4週)	家原 典之		
207 TEL (4426)	高血圧	腎臓・痛風・高血圧	高血圧・血管病	高血圧・腎臓	高血圧・血管病	高血圧・血管病	
	菅根 正勝	澤井 一智	山原 研一	伊藤 裕	吉岡徹朗(2,4週) 田村尚久(1,3,5週)		
208 TEL (4239)	腎臓・痛風・高血圧	腎臓	腎臓・痛風・高血圧	高血圧・腎臓	腎臓・痛風・高血圧	腎臓・痛風・高血圧	
	向山 政志	田中 芳徳	菅原 照	向山 政志	横井 秀基		
205 TEL (4298)			腎疾患・高血圧	腎臓・高血圧	腎疾患・高血圧	腎臓	
			武田敏也(午前)	長井 幸二郎			
205 TEL (4298)			腎臓・高血圧	腎臓	腎臓	腎臓	
			濱田 美子(午後)				

10月14日(木)より家原Dr.(205)と濱田DR.(206)が交代になります。

2-C受付		呼吸器科 (G)					TEL751-4445 FAX751-4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
初診室 TEL (4453)	初診	初診	初診	初診	初診	初診	
	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
218 TEL (4923)	慢性気管支炎	一般	腫瘍	感染症	慢性気管支炎	慢性気管支炎	
	長井 苑子	三嶋 理晃	三尾 直士	伊藤 稔 (午後のみ)	長井 苑子		
219 TEL (4575)	感染症	呼吸器病・腫瘍科併用	呼吸器病・腫瘍科併用	呼吸器病・腫瘍科併用	呼吸器病・腫瘍科併用	感染症	
	平井 豊博	中村 敬哉	陳 和夫	中村 敬哉 (午後のみ)	平井 豊博		
220 TEL (4925)	腫瘍	喘息・慢性咳嗽	COPD	初診・一般	COPD		
	三尾 直士	新美 彰男 松本 久子	室 繁郎	担当医	室 繁郎		
221 TEL (4926)	喘息・慢性咳嗽	喘息・慢性咳嗽	感染症	喘息・慢性咳嗽	喘息・慢性咳嗽		
	松本 久子	新美 彰男 松本 久子	伊藤 稔	新美 彰男			

2-B受付		内分泌・代謝科 (E)					TEL751-4425 FAX751-4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
209 TEL (4440)	内分泌代謝	神経内分泌	内分泌代謝	内分泌代謝	内分泌代謝	内分泌代謝	
	小松 弥郷	金本 巨哲	小松 弥郷	八十田 明宏	中尾 一和(1,3,5週) 佐久間 陽子(2,4週)		
210 TEL (4241)	内分泌代謝	甲状腺	内分泌代謝	内分泌代謝	甲状腺		
	荒井 宏司	須川 秀夫	八十田 明宏	森山 賢治	赤水 尚史		

2-B受付		糖尿病・栄養科 (F)					TEL751-4425 FAX751-4435
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
211 TEL (4434)	糖尿病	糖尿病・肥満	糖尿病	糖尿病・肥満	糖尿病		
	中尾 一和	田村 尚久	益崎 裕章	荒井 宏司	伊藤 裕		
212 TEL (4436)	糖尿病・肥満・高脂血症	糖尿病	糖尿病・肥満	糖尿病・運動療法	糖尿病・栄養		
	益崎 裕章	海老原 健	細田 公則	林 達也	細田 公則		
213 TEL (4437)	高脂血症・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養		
	鈴木 春彦	福田 一仁	武田 智美	月山 克史	福島 光夫		
214 TEL (3564)	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養		
	長嶋 一昭	山田 祐一郎	津田 謹輔	藤本 新平	山田 祐一郎		
215 TEL (3674)	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養		
	細川 雅也	藤本 新平	中井 義勝	細川 雅也	長嶋 一昭		
216 TEL ( )	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養	糖尿病・栄養		
	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
栄養指導室	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導		
	栄養士	栄養士	栄養士	栄養士	栄養士		
栄養指導室 TEL (4439)	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導		
	栄養士	栄養士	栄養士	栄養士	栄養士		

2-G受付		血液・腫瘍科 (A)					TEL751-4420 FAX751-4421
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
260 TEL (4417)	トナリ外来	一般	一般	一般	一般	一般	
	担当医	岡崎 俊朗	堀 利行	近藤 忠一	岡崎 俊朗 (第4週のみ)	岡崎 俊朗	
261 TEL (4418)	一般	一般	一般	一般	一般	一般	
	江角 泰治	石川 隆之	門脇 則光	今田 和典	高折 晃史		
262 TEL (4419)	一般	一般	一般	血小板・止血・血栓	一般	一般	
	一戸 辰夫	内山 卓 一戸 辰夫	山本 孝吉	高山 博史 (第1,3,5週)	笹田 昌孝		
263 TEL ( )	トナリ外来						
	担当医						

2-G受付		免疫・膠原病科 (B)					TEL751-4420 FAX751-4421
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
264 TEL (3680)	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	
	臼井 崇	藤井 隆夫	藤井 隆夫	三森 経世	臼井 崇		
265 TEL (3681)	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	
	田中 真生	長岡 研五	田中 真生	藤田 宗	西藤 元(1,2,3,5週) 田中 真生(4週)		
266 TEL (4568)	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	免疫・膠原病	
	吉藤 元(4週)	川端 大介					

2-C受付		循環器科 (H)					TEL751-4445 FAX751-4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
221 TEL (4926)	心臓病				心臓循環器		
	中川 義久				中川 義久		
222 TEL (3682)	心臓病	心臓病	心臓病	心臓病	心臓病・運動療法	虚血性心疾患・高脂血症	
	原田 昌樹	川上 利香	原田 昌樹	榎田 出	堀内 久徳 (1,3,5週)		
223 TEL (3683)	心筋症・心不全	心臓循環器	心臓循環器	虚血性心疾患	虚血性心疾患	虚血性心疾患	
	岸本 千晴	当麻 正直	西山 慶	藤田 正俊	細川 了平		
224 TEL (4455)	虚血性心疾患	虚血性心疾患	心筋症・心不全	不整脈	心臓循環器		
	神原 直樹	由井 芳樹	松森 昭	静田 聡	古川 裕		
225 TEL (4447)	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器	心臓循環器	
	木原 康樹	松田 哲也	担当医(午後)	木村 剛	阿部 充		
226 TEL (4448)	心臓循環器初診	心臓循環器初診	心臓循環器初診	心臓循環器初診	心臓循環器初診	心臓循環器初診	
	堀内 久徳	木村 剛	赤尾 昌治	木原 康樹	久米 典昭		
227 TEL (4449)	虚血性心疾患・高脂血症	心臓循環器	心臓循環器	虚血性心疾患・高脂血症	心臓循環器	心臓循環器	
	久米 典昭	長谷川 浩二(8週)	田村 俊寛	北 康(1,3,5週)	担当医(2,4週)		

2-D受付		老年科 (J)					TEL751-4445 FAX751-4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
227 TEL (4449)	物忘れ外来						
	武地 一						
228 TEL (3685)	物忘れのみ使用						
	加齢総合外来						
229 TEL (3686)	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来	加齢総合外来	
	松 林	田中 誠(11/16-)	出木谷 寛	荒井 秀典	西岡 弘晶		
234 TEL (4454)	物忘れ外来						
	武地 一						

物忘れ外来は完全予約制

2-D受付		神経内科 (K)					TEL751-4445 FAX751-4450
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
230 TEL (3738)	一般・てんかん	一般	一般	一般	一般	一般・てんかん	
	池田 昭夫	富本 秀和	山本 兼司	河本 恭裕	松本 理器		
231 TEL (3739)	一般・脳血管障害	一般	一般	一般	一般	一般・脳血管障害	
	橋川 一雄	花川 隆	山門 穂高	池田 昭夫	大塚 快信		
232 TEL (4456)	一般	一般・脳血管障害	一般・脳血管障害	一般	一般	一般・パーキンソン病	
	福山 秀直	齋木 英資	富本 秀和	下濱 俊	澤田 秀幸		
233 TEL (4457)	一般	一般・感染症	一般	一般	一般	一般	
	長峯 隆	木原 武士	西尾 佳子	松井 大	美馬 達哉		
234 TEL (4454)	一般・運動失調症	一般	一般	一般	一般	一般	
	河本 恭裕				下濱 俊		



外来診療担当医表 2階 外科系 (2024年12月) 京都大学医学部附属病院

2-F受付		歯科口腔外科(140)				TEL751-3729 FAX751-4550
診察室	曜日	月	火	水	木	金
予診室1 251 TEL(4548)		西田 光男	坪井 陽一	高橋 克	別所 和久	村上 賢一郎
予診室1 252 TEL(4549)		別所 和久	吉田 和也	大久保 康則	吉田 和也	高橋 克
ポリクリ室 253 TEL(4531)		坪井 陽一 飯田 正人 吉田 和也	村上 賢一郎 大久保 康則	西田光男(2.4週) 別所和久(1.3.5週) 山村 功	村上賢一郎(再診)	
診察室 200番 TEL(3730)	20-1	高藤 洋之	高藤 洋之			高藤 洋之
	20-2		坪井 陽一	大久保 康則		
	20-3		田村 佳代	田村 佳代	田村 佳代	
	20-4	別所 和久			別所 和久	
	20-5	高橋 克		高橋 克		高橋 克
	20-6		吉田 和也	吉田 和也	吉田 和也	
	20-7	清水 巖		清水 巖		清水 巖
	20-8	西田 光男		山村 功	西田 光男	
	20-9					
処置室 250	午前					
	午後		吉田 和也		高橋克(2.4週) 大久保康則(1.3.5週)	
専門外来(午後)	20-3	顎矯正 西田 光男 高橋 克 (1.3.5週)			顎矯正 坪井 陽一 (2.4週)	顎矯正 西田 光男 横江義彦(1.3週) 宮本克明(3週のみ)
	20-6	睡眠呼吸障害 吉田 和也 坪井 陽一 (1.3.5週)				
	20-7	顎関節 村上 賢一郎 山村 功 (2.4週)				
	251	腫瘍外来 西田 光男 山村 功	顎顔面骨折 坪井 陽一 山村 功		顎顔面骨折 別所 和久 山村 功	組織再生インプラント 坪井 陽一 別所 和久 高橋 克

\* 専門外来は、基本的には再診のみです。

2-G受付		放射線科核医学科(150)				TEL751-4420 FAX751-4421
診察室	曜日	月	火	水	木	金
255 TEL(4564)		高橋 潤(1.3週) 柴田 登志也(午前)				
255 TEL(4564)		甲状腺 東 達也(午後) 2.3.4.5週			放射線治療 小久保 雅樹 (最終週のみ)	
256 TEL(4565)	午前	放射線治療 高山 賢二	治療新患 山内 智香子	治療新患 崔 秉哲		脈管 永田 靖
	午後	放射線治療 高山 賢二	山内 智香子	治療新患 崔 秉哲	放射線治療 小野 公二 (2.4週)	
257 ポリクリ室 TEL(3423)	午前					
	午後	ラジオサージャリー 荒木 則雄 高橋 潤 小倉 昌和				
258 TEL(4566)		放射線治療 溝脇 尚志	放射線治療 永田 靖	放射線治療 平岡 真寛 (午前のみ)	放射線治療 光森 通英	放射線治療 荒木 則雄
	259 TEL(4567)	治療新患 立入 誠司	放射線治療 坂本 隆史	放射線治療 澁谷 景子	治療新患 板坂 聡	治療新患・脈管新患 小倉 昌和
中診地下(2室) TEL(3532)	中診 担当医2	中診 担当医4	中診 担当医5	中診 担当医3	中診 担当医6	
中診地下(3室) TEL(3532)	中診 担当医11	中診 担当医8	中診 担当医9	中診 担当医10	中診 担当医7	
中診地下(4室) TEL(3532)	中診 担当医1	中診 担当医5	中診 担当医13	中診 担当医	中診 担当医5	
Ri診療棟 TEL(3543)						甲状腺 東 達也
南西放治 101		南西担当医1 南西担当医2 南西担当医3				

部「中診放射線治療」外来は予約センターで予約を取らないこと

2-E受付		脳神経外科(170)				TEL751-3729 FAX751-4550
診察室	曜日	月	火	水	木	金
235 TEL(3719)		片岡 大治	片岡 大治(午前) 山田 圭介(午後)			化学療法 高橋 潤 織田 雅
236 TEL(3720)		中澤 和智	高木 康志			北条 雅人
237 TEL(3721)		北条 雅人	菊田 健一郎			菊田 健一郎
238 TEL(3722)		高橋 淳	三國 信啓			三國 信啓
239 TEL(4569)		高橋 潤	高橋 潤(午前) ラジオサージャリー(午後) 高橋 潤、荒木 則夫		担当医 (新患のみ)	高橋 淳
	240 TEL(4570)	野崎 和彦	神経心理 大東祥孝(午後)	担当医 (新患のみ)	大東祥孝(午後)	野崎 和彦
241 TEL(4571)			橋本 信夫			

半年以上受診していない患者は、水・木曜でも受診可能  
ラジオサージャリー外来は午後(受付のみは午前中でも可)

外来診療担当医表 3階 (2004年12月)

京都大学医学部附属病院

3-B受付		小児科(080)				TEL751-3709 FAX751-4495
診察室	曜日	月	火	水	木	金
311 TEL(3710)	A	ボリクリ (平家 俊男)	小児心理 友久 久雄 (2,4週)	血液 平松 英文		小児心療 高尾 龍雄
		B	心臓 平海 良美(1,3,5週) 堀内 伸二(2,4週)	血液 依藤 亨	血液 小林 道弘	血液 小林 道弘
313 TEL(4503)	A		心臓 土井 拓	血液 足立 壮一	血液 足立 壮一	免疫・アレルギー 西小森 隆大
		B	神経 加藤 竹雄	代謝内分泌 河井 昌彦	精神発達 白石 一浩(午後) (12/8~)	
314 TEL(4504)			一般外来 中畑 龍俊	一般外来 平家 俊男	一般外来 依藤 亨	一般外来 平家 俊男
315 TEL(4505)		未熟児 河井 昌彦	7/11- 楠 隆		7/11- 楠 隆	
316 TEL(4506)		発達テスト 中瀬 潤	血液 松原 央 松浦 ひろみ			発達テスト 内田 啓子 大東 美智子

3-C受付		産科婦人科(070)				TEL751-3712 FAX751-4501
診察室	曜日	月	火	水	木	金
予診室 TEL(4559)	A	予診医師	予診医師	予診医師	予診医師	予診医師
		B	ボリクリ 藤井 信吾	婦人科外来 刈谷 方俊	女性内分泌 鈴木 彩子	思春期・更年期外来 小西 光長
319 TEL(4496)	A		由良 茂夫	伊東 宏晃	藤原 浩	刈谷 方俊
		B	福原 健	吉岡 信也		樋口 壽宏
320 TEL(4497)	A		産科外来 佐川 典正	産科外来 川村 実	産科外来 伊東 宏晃	産科外来 山田 田
		B	婦人科管理外来 万代 昌紀	婦人科外来 由良 茂夫	婦人科外来 高倉 賢二	婦人科外来 樋口 壽宏
321 TEL(4498)	A		妊孕外来 藤原 浩	妊孕外来 明坂 治子	妊孕外来 吉岡 信也	妊孕外来 江川 一
		B	妊孕外来 吉岡 信也			

初診及び予約無しで半年以上来院していない患者は診察前に問診票を記入し、必ず予診室で予診を受け、その後319号室で診察を受けることを原則としています。初診外来は担当医が交代で診察します。

3-D受付		泌尿器科(100)				TEL751-3700 FAX751-4501
診察室	曜日	月	火	水	木	金
323 TEL(4500)	A	一般 伊藤 哲之		一般 清川 岳彦	一般 賀本 敏行	
		B	一般 小川 修		自立診療局泌尿器科 賀本敏行(午前)	一般 小川 修
324B TEL(4521)	A		自立診療局泌尿器科 光森通英(午前)		自立診療局泌尿器科 満島尚志(午前)	
		B	一般 中村 英二郎		一般 伊藤 明宏	一般 山本 新吾
325 TEL(3701)	A		超音波室 326 TEL(4517)			
		B	新患/一般 担当医 藤原 健	新患/一般 担当医	新患/一般 担当医	新患/一般 担当医
327 TEL(3702)	A		新患/一般 担当医 西山博之(午後)	新患/一般 担当医	新患/一般 担当医	新患/一般 担当医
		B	高橋 毅	担当医	西山 博之	吉村 耕治
329 TEL(4515)	A		尿失禁・排尿障害 担当医	尿失禁・排尿障害 担当医	腎移植 担当医	不妊(午後) 西山博之
		B	超音波室 330 TEL(4518)	超音波室 330 TEL(4518)	超音波室 330 TEL(4518)	超音波室 330 TEL(4518)

不妊外来以外の全ての専門外来は予約制です。予約外患者さんが来院の場合は診察室へ連絡し、確認をとってください。(木)不妊外来の受付は、新来14:00、再来15:00まで(月)(木)前立腺生検外来の受付は14:00まで

3-A受付		眼科(060)				TEL751-3709 FAX751-4495
診察室	曜日	月	火	水	木	金
301 TEL(4481)	午前	一診(新患) 高木 均	一診(新患) 田邊 晶代	一診(新患) 桐生 純一	一診(新患) 吉村 長久	一診(新患) 鈴間 潔
		午後	網膜色素変性 高橋 政代			
302 TEL(4482)	午前		二診 宮本 和明	糖尿病 栗本 雅史	二診 西山 佳寿子	二診 西脇 弘一
		午後	斜視・弱視 鈴間 潔			
303 TEL(4483)	午前		二診 春田 雅俊	二診 担当医	二診 板谷 正紀	二診 後藤 謙元
		午後	ERG 担当医			
304 TEL(4484)	午前		緑内障POAG 緑内障G 高木 均	糖尿病 高木 均	ぶどう膜炎 桐生 純一	網膜疾患 高木 均
		午後			黄斑 桐生 純一	
305 TEL(4485)	午前		緑内障POAG 緑内障G 渡部 大介	糖尿病 宮本 和明	神経眼科 宮原 晋介	ぶどう膜炎 宮脇 貴也
		午後				黄斑 愛川 裕子
306 TEL(4486)	午前		緑内障POAG 緑内障G 桐生 純一 (1,3週)	糖尿病 春田 雅俊	神経眼科 喜多 美穂里	ぶどう膜炎 西山 佳寿子
		午後				黄斑 高橋 政代
307 TEL(4487)	午前		緑内障NTG 緑内障G 西脇 弘一	糖尿病 平田 裕也	神経眼科 宮脇 貴也	ぶどう膜炎 宮本 和明
		午後				黄斑 勝田 英人
308 TEL(4488)	午前		緑内障MSG 緑内障G 鈴木 拓也	糖尿病 鈴木 拓也	神経眼科 田邊 晶代	ぶどう膜炎 村上 智昭
		午後				黄斑 万代 道子
309 TEL(4489)	午前		緑内障OHT 緑内障G 鈴間 潔	糖尿病 栗本 雅史	神経眼科 田村 寛	ぶどう膜炎 渡部 大介
		午後	ロービジョン 高橋 政代		黄斑 春田 雅俊	コンタクト 担当医
310 TEL(4491)	午前		二診 大谷 篤志	神経眼科 大石 明生		二診 大谷 篤志
		午後	視力・視野検査 生活支援 高橋 政代		黄斑 大谷 篤志	視力・視野検査

3-F受付		耳鼻咽喉科(110)				TEL751-3731 FAX751-4525
診察室	曜日	月	火	水	木	金
337 TEL(4529)	A	咽喉 田村 芳寛				
		B	咽喉 倉田 哲介	人工内耳 金丸 真一(1,3,5週)	音声外来 安里 亮(1,3週)	内耳・中耳外来 内藤 泰
341 TEL(4528)	午前		二診(一般) 担当医	二診(一般) 担当医	二診(一般) 担当医	二診(一般) 担当医
		午後			補聴器外来 松本 昌宏	
342 TEL(4527)	午前		一診(初診) 担当医	一診(初診) 担当医	一診(初診) 担当医	一診(初診) 担当医
		午後			細胞診 山本 典生	頸部腫瘍・甲状腺 田中 信三
343 TEL(4526)	午前		音声・腫瘍 安里 亮		難聴 平海 晴一	鼻・副鼻腔 田村 哲也
		午後			難聴 藤村 聡	
344 TEL(4524)	午前		鼻・副鼻腔 中川 隆之	中耳炎 平海 晴一	耳鳴・難聴 辻 純	音声外来 山下 勝
		午後			甲狀腺・腫瘍 田村 芳寛	頸部腫瘍・甲状腺 安里 亮
345 TEL(4523)	午前		滲出性中耳炎 辻 純	中耳炎 金丸 真一	耳鳴・難聴 藤野 清大	
		午後			頸部腫瘍 玉木 久信	
346 TEL(4522)	午前				新生児乳幼児難聴 岩井 詔子	音声外来 田中 信三
		午後			頸部腫瘍 金丸 真一(2,4週)	

専門外来はすべて予約制。初診と二診の担当医は日々変更の可能性があり。初診担当医は初診の患者のみ診察(Dr宛の紹介状を持参した場合を除く)

3-E受付		皮膚科(090)				TEL751-3714 FAX751-4525
診察室	曜日	月	火	水	木	金
334 TEL(3715)	午前	水泡症/アトピー 松吉 徳久	結合膜疾患/皮膚腫瘍 7/11- /膠原病 宇谷 康志	一般 松村 由美	一般 是枝 哲	皮膚外科/静脈腫瘍 /腫瘍 皮膚外科/皮膚腫瘍 是枝 哲
		午後				
335 TEL(4509)	午前		光線過敏症/リンパ腫 皮膚腫瘍 松村 由美	皮膚外科/一般 猪口 奈緒子	アトピー/一般/皮膚腫瘍 松村 由美	乾燥/膠原病 高橋 健造
		午後				
336 TEL(4510)	午前			褥瘡/一般 神戸 直智	アトピー/一般 神戸 直智	一般 西脇 冬子
		午後				
338 TEL(4511)	午前		白癬/乾癬 出射 敏宏	脱毛症/一般 中村 元信	皮膚外科/一般 猪口 奈緒子	一般/皮膚腫瘍 中村 元信
		午後				
340 TEL(4512)	午前		一般 荒木 絵里	皮膚腫瘍 生駒 晃彦	一般 荒木 絵里	一般 生駒 晃彦
		午後	接触皮膚炎 荒木 絵里 (予約のみ)		接触皮膚炎 荒木 絵里 (医師専用枠)	
予診室 331 TEL(4514)	午前					
		午後				
332 TEL(3718)	午前		初診 宮地 良樹	初診 高橋 健造	初診 松吉 徳久	初診 宮地 良樹
		午後			外来回診 宮地 良樹	皮膚神経 尾崎 元昭 (3週)
予診室 333 TEL(3706)	午前		担当医	担当医	担当医	担当医
		午後				

皮膚科外来の受付は、午後13:30-15:30まで、月曜午後の接触皮膚炎には予約センターでは予約はできません。パッチテストを希望の方は、一度必ず水曜・木曜の加藤医師の診察を受ける必要があります。水曜午後の外来回診は、予約センターあるいは他科の医師から予約できません。一度皮膚科を受診する必要があります。初診の担当医は変更の可能性があり、また休診などにご注意ください。

専門外来は全て予約制です。

3-G		外来化学療法部(400)				TEL751-4836 FAX751-4938
-----	--	--------------	--	--	--	----------------------------

外来診療担当医表 4階 (2004年12月)

京都大学医学部附属病院

4-E受付		M 外科				TEL751-4460 FAX751-4462
診察室	曜日	月	火	水	木	金
411 TEL(4468)		初診、食道、胃 嶋田 裕 (一外)	初診、一般 鷲原 康行 (二外)	初診、肝胆膵、大腸 土井 隆一郎 (一外)	肝、胆、膵 鷲原 康行 (二外)	初診、大腸 小野寺 久 (一外)
412 TEL(4469)		肝・膵 藤本 康二 (一外)	食道、胃、大腸 長谷川 (二外)	胃、大腸 長山 聡 (一外)	初診、一般 猪飼 伊和夫 (二外)	肝、胆、膵 森 章 (一外)
413 TEL(4470)		説明外来 担当医 (一外)	肝、胆、膵 波多野 悦朗 (二外)	食道、胃、大腸 渡辺 剛 (一外)	食道、胃、大腸 佐藤 誠二 (二外)	食道、胃、内分泌 伊丹 淳 (一外)
414 TEL(4471)		食道、胃、乳腺 川口 義弥 (一外)	肝、胆、膵 猪飼 伊和夫 (二外)	説明外来 担当医 (一外)	肝、胆、膵 田浦 康二郎 (二外)	説明外来 担当医 (一外)
415 TEL(4472)		乳 腺 植野 正也(午後) (二外)	乳 腺 加藤 大典 (二外)	乳腺(午後) 担当医 (二外)	乳 腺 加藤 大典 (二外)	デイスার্ジャー 加藤 大典 (二外)
416 TEL(3787)		乳 腺 稲本 俊 (二外)		乳腺新患 稲本 俊 (二外)		乳 腺 稲本 俊 (二外)
416(午後)			乳腺処置 担当医 (二外)	乳腺説明 稲本 俊(午後) (二外)	乳腺処置 担当医 (二外)	
417 TEL(3693)		移植、肝ドナー 高田 泰次(午後) (移植外科)	小児、移植 坂本 靖介(午前) (小児外、移植外)	処 置 担当医 (移植外科)	移 植 笠原 群生	説明外来 担当医 (二外)
418 TEL(3691)		移植、肝ドナー 江川 浩人(午後) (移植外科)	移 植 江川 浩人 (移植外科)	ストマー(午後) 小野寺久/三富陽子 (一外)	移植、肝ドナー 瓜生原 健嗣 (移植外科)	膵臓移植 松本 慎一(午後) (移植外科)
419 TEL(3690)		移 植 尾池 文隆(午後) (移植外科)	移 植 小崎 浩一 (移植外科)		移 植 上田 幹子 (移植外科)	肝、胆、膵(午後) 藤井 英明 (二外)
409 TEL(4466)					移植、肝ドナー 小川 晃平 (移植外科)	
408 TEL(4465)		デイスার্ジャー(午後) 加藤 大典 (二外)				
移植医療部情報室 TEL(3243)			初 診 担当医 (移植外科)		初 診 担当医 (移植外科)	

2外科の高圧酸素は午後のみ、新患は月曜、水曜受付不可  
移外の受付 月曜日は12:00~14:30

デイスার্ジャー受付 (内線4580)

4-E受付		心臓血管外科(220)				TEL751-4460 FAX751-4462
診察室	曜日	月	火	水	木	金
410 TEL(4467)			心臓外科外来 米田 正始	心臓血管外科外来 中島 博之		心臓血管外科外来 佐地 嘉章
409 TEL(4466)		心臓外科外来 池田 義	心臓外科外来 大野 暢久	心臓血管外科外来 仁科 健		小児心臓外科 池田 義 (1,3,5週のみ)
408 TEL(4465)						

4-E受付		形成外科(190)				TEL751-4460 FAX751-4462
診察室	曜日	月	火	水	木	金
406 TEL(4463)		一般 森本 尚樹	唇裂・口蓋裂 顔面外傷 鈴木 茂彦	乳房形成 鈴木 義久	鈴木 茂彦	一般(午前) 手足再建・乳房外科(午後) 鈴木 義久
407 TEL(4464)		一般 張 弘富	手の機能・形態 の再建、先天異 常 沢辺 一馬	唇裂・口蓋裂 川添 剛	森本 尚樹	山脇 聖子
408 TEL(4465)					言語 竹内 真理子 (2,4週)	

4-D受付		呼吸器外科(390)				TEL751-3415 FAX751-4591
診察室	曜日	月	火	水	木	金
403 TEL(4927)		和田 洋己 (新患専用) 肺移植外来 担当医(午後のみ)	花岡 伸治	和田 洋己	坂東 徹	福瀬 達郎
404 TEL(4928)		阪井 宏彰	足立 匡司	田中 文啓	李 美於	片倉 浩理
410 TEL(4975)					柳原 一広	

4-D受付		麻酔科(160)				TEL751-3415 FAX751-4591
診察室	曜日	月	火	水	木	金
405 TEL(3442)		角山 正博 池上 直行		久野 太三 池上 直行 正田 丈裕		角山 正博 久野 太三 正田 丈裕